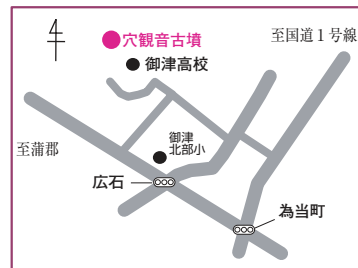




みつけた!



穴観音古墳と観音石像



御津高校の裏手にある、穴観音古墳とその中にある観音石像をご存じでしょうか。

穴観音古墳は、伝説によると、武烈天皇（499年～506年）の時代に全国で火の雨が降るといふ噂が流れ、その避難用に造られたもののようです。平成元年の発掘調査で、この古墳は、三段築成の円墳で直径20尺、高さ5尺と推定されています。このような形の古墳は東海地方では大変珍しいとされています。推定の手がかりとなる出土遺物が少ないため、築造年代は確定できませんが7世紀初めごろと考えられています。

一方、穴観音古墳の石室の最奥部にある石造の観音像は、いつごろか明確ではありませんが、そこにまつられ、地元の信仰対象になっています。この観音石像は開運・健康・諸願成就のご利益があるといわれていますが、願い事と引き換えにお供えすると約束したものは必ず差し上げねばならないといういい伝えもあります。

現在では、この穴観音古墳付近は、公園として地域の人々に見守られ、近くではホタルも舞う、自然豊かな地域となっています。

